

平成20年度継続箇所 再評価結果

事業名	蕨都市計画事業錦町土地区画整理事業		都市名	埼玉県蕨市	
施行者	蕨市	施行面積	85.1ha	補助採択	昭和57年度
事業概要	本地区は、JR京浜東北線蕨駅より西方約1.5kmに位置し、北は国道17号線、東は都市計画道路旭町前谷線、南は戸田市、西はさいたま市に接した面積約85.1haの区域である。JR埼京線の戸田駅、北戸田駅の開設に伴い、交通条件や居住条件に恵まれているが、公共施設の立ち遅れが目立ち、無秩序な市街地の形成が進んでいる。これに対処するため公共施設の整備改善を図り、健全で安心かつ良好な市街地の造成を図ることを目的として、土地区画整理事業を施行している。				
昭和58年度事業計画決定(平成15年度変更)		仮換地指定76.5%		工事着手あり	
全体事業費	335億円	補助事業費	131.77億円	事業進捗率	59.1%
費用便益比	B/C	総便益	総費用	基準年	
	8.72	1,263.72億円 走行時間短縮便益：1,231.35億円 走行経費減少便益：30.77億円 交通事故減少便益：1.60億円	144.99億円 事業費：144.39億円 維持管理費：0.60億円	平成20年	
事業の効果等					
IV- (1) 地区内の既存道路は、全体的に幅員4m未満の狭小で屈曲している。 II- (2) 大都市法による重点供給地域であるが、接道条件等から合理的な土地利用が行われていない。 III- (1) 地区内の道路網は歩車道の区別がなく、駅へ向かう通勤・通学者に支障を来たしている。 III- (2) 地区内は、住工混在地域であり、良好な環境が形成されていない。 I- (3) 地区内の約8割が住居系の用途地域で、街区再編、未利用地の集約及び中心市街地への混雑度の解消。 ※以上を土地区画整理事業により、整備するものである。					
事業の進捗状況・採択以降の周辺環境変化					
都市計画道路(錦町富士見線、元蕨法ヶ田線)を整備することにより、他市との広域交通体系の充実を図り、円滑な交通流動の実現とともに、公益公共施設等の立地を促進し、良好な住環境を確保しつつある。					
今後の見通し					
進捗率5割を超え、早期の事業完了に向け、今後も、都市計画道路等の基盤整備を推進し、地区の一体的な住環境を図るために、積極的な事業推進に努める。					
コスト縮減等 (コスト縮減方策等について記述。)					
集団的な家屋移転を実施して、施行期間の短縮を図り、また砕石や舗装材等については、リサイクル材を使用し、工事費のコスト縮減に努め、全体的に効果的な事業費の削減を図る。					
対応方針	継続				
事業概要図	 				